

第16回 情報センター等部門研修会

開 催 要 項

平成12年9月6日（水）～8日（金）

社団法人私立大学情報教育協会
研修運営委員会

平成12年度・私情協研修等事業一覧	
-------------------	--

7月	事務システム基礎講習会
8月	学内LAN運用管理講習会
8月	授業情報技術講習会（東京）
9月	情報センター等部門研修会
10月	事務システム研修会
11月	事務部門管理者会議
3月	授業情報技術講習会（大阪）

1. 目的及び内容

本研修会は、私立大学の情報センター等の教職員、または学内の情報化を担う部門の教職員を対象に、情報化の方向性、教育・研究支援、事務支援、ネットワーク支援等、情報部門の責務と課題について分科会による討議形式の研修をおこない、関係教職員の資質向上と関係部門の発展に寄与することを目的とする。

2. 全体講演 「情報技術(IT)を活用した教育支援」

講 師：妹尾 堅一郎 氏（慶應義塾大学助教授、知的資産センター副所長）

大学審議会の答申にもあるように、これからの大学教育には、学生が自ら将来の課題を探求し、幅広い視野から柔軟かつ総合的に判断できる課題探求能力の育成に主眼を置いた教育改革の推進が求められている。それには、従来の教育方法、教育内容について見直し、学生が主体的に授業に参加できるような環境が望まれる。例えば、情報技術(IT)を導入することにより、教員と学生のコミュニケーションの充実、リアルタイムで外部の専門家や教員の支援を受ける授業の実現、他大学教員との教材の共有化、生涯学習への対応など、多様な教育方法の工夫が必要とされている。

そこで、今回は、実際にITを教育に導入して体験されておられる立場から、教員が思い描く授業方法、授業環境などについて披瀝いただき、それを踏まえて、大学としてどのように情報技術を活用することが望ましいのか、また、それを可能にするための情報環境・支援体制整備の進め方など、情報センターによる新しい教育支援のあり方を検討する機会としたい。

3. 各コースの概要と参加対象者

第1分科会 情報部門管理者コース

(1) メインテーマ

「情報化整備が目指すもの ―大学の環境（教育・研究・経営）はどのように変わるか―」

(2) グループ討議の内容

教育研究の目標を実現するために、情報技術をどのように活用することが望ましいのか、という観点から、情報部門の職員は、情報化の可能性と限界を見極め、大学の目標と自身の業務との関連性を持たせながら業務に向かう必要がある。

このコースでは、教育研究支援センターとしての情報センターの関わり、それを実現するための人的・物的環境のあり方について討議し、情報化の側面から業務を見直し、改善を図るための方策について、管理者としての見識の共通理解を得たい。

(3) キーワード

- ①情報化政策（コンテンツの電子化、EUC、WWW、情報インフラ 等）
- ②情報活用と運用上の問題点（著作権、個人情報保護 等）

(4) 参加対象

情報部門管理職者、情報部門の運営方針の決定に関与する教職員の方。

(5) 事例発表

参加者事前レポートの内容から、討議中に事例発表をお願いする予定。

(6) 参加者レポート

自大学の情報化政策に関する指針、問題点、将来構想、討議希望事項などをA4サイズ1枚程度（「11.参加者レポート作成要領」参照）にまとめ、事前提出することを参加の必須条件とする。

第2分科会 教育研究支援コース

(1) メインテーマ

「情報技術を活用した教育研究支援のあり方

— 情報技術の活用によって多様化する教育研究支援

学術情報環境（図書館等）の教育研究支援 —」

(2) グループ討議の内容

各大学でネットワークの整備、教室のマルチメディア化が進められているが、これらの設備を使用して授業をどのように展開するのか、教育効果をどのように高めてゆくのが課題となっている。

このコースでは、加盟大学向けのアンケート結果などにより、各大学における情報技術の活用状況を参考にしながら、例えば、教材の電子化に対する支援、教員のWebページ開設・運用の支援、情報技術修得のための講習会実施など、これからの教育研究支援に対する情報センターの関わり方を模索する。

(3) キーワード

- ①メディアリテラシーと情報活用能力
- ②教職一体の教育支援（支援室）
- ③デジタルコンテンツ
- ④ノートPCと携帯端末の活用と課題

(4) 参加対象

教育研究をサポートする情報センター、図書館、研究所等の教職員ならびに管理者の方。

(5) 事例発表

情報化支援室等を設置している大学における実施内容、運用体制などを紹介をいただくことにしている。また、参加者事前レポートの内容から、事例発表をお願いすることがある。

(6) 参加者レポート

上記のキーワードに沿った提案、問題点、討議希望事項をA4サイズ1枚以内（「11.参加者レポート作成要領」参照）にまとめ、事前提出することを参加の必須条件とする。

第3分科会：事務の情報化支援コース

(1) メインテーマ

「事務の情報化の方向性と課題 － 大学の情報公開を意識して －」

(2) グループ討議の内容

これまでの事務の情報化は、業務処理に比重をおいて進められてきたが、これからの情報化は、情報技術を多様な方法で工夫・活用することによって、大学の管理運営に有益な戦略情報が体系的に整備されていくことが要請されてくる。

このコースでは、来年施行される大学の情報公開を機に、自己点検・評価の管理情報や、大学が計画している戦略情報などの構築と共有について、職員の立場から、どのような関わりを持つべきか、組織的な支援体制、情報を管理する上でのセキュリティー体制、職員に求められる倫理観などについて討議する。

(3) キーワード

- ①情報の共有と開示 ②管理情報と戦略情報 ③ネットワークセキュリティー
- ④アウトソーシング ⑤職員研修（情報倫理、プライバシーと個人情報保護、情報提供 等）

(4) 参加対象

事務の情報化を直接担当しているか、あるいは、それを支援しているセンター職員および現場での担当者の方。

(5) 事例発表の有無

参加者事前レポートの内容等から、必要に応じて課題提起・事例発表をお願いする予定。

(6) 参加者レポート

上記のキーワードに沿った提案、問題点、討議希望事項をA4サイズ1枚以内（「11.参加者レポート作成要領」参照）にまとめ、事前提出することを参加の必須条件とする。

第4分科会 ネットワークコース

(1) メインテーマ

「学園のネットワーク運用管理における諸問題 ― 不正侵入対策 ― 」

(2) グループ討議の内容

既に新聞等で報道されている通り、大学はネットワーク不正侵入の対象として狙われやすい場所になっている。大学の構成員が関わっていなくとも、大学の管理が不適切であるばかりに不正侵入を招き、大学が社会的な信用を失い、大学のイメージを大きく損なうことになる。したがって、この問題は、単なるネットワーク管理上の問題ではなく、大学全体が外部からの攻撃に対して適切な対策を講じることが求められてくる。

そこで、このコースでは、不正侵入対策の実例について紹介し合い、当面緊急に対応すべき点について理解を深めるとともに、学内においても、学外に対する不適切な行為が発生しないようにするための利用者教育・研修、利用基準の作成などの問題について、討議を通じて共通理解を得られるようにしたい。

(3) キーワード

- ①コンピュータ犯罪とセキュリティ ②ネットワークポリシー（教育研究利用、事務利用）
③コンピュータウイルス ④有害情報 ⑤プロバイダーの利用

(4) 参加対象

ネットワークの運用管理に携わる情報部門の教職員ならびにネットワーク管理者。

(5) 事例発表の有無

参加者事前レポートの内容から、2～3の事例発表をお願いする予定。

(6) 参加者レポート

運用管理とセキュリティについて自校の現状と問題点、討議希望事項をA4サイズ1枚以内（「11.参加者レポート作成要領」参照）にまとめ、事前提出することを参加の必須条件とする。

4. 募集定員 180名程度（各コースとも40～50名程度）

※ 各コースとも参加人数が多い場合は討議希望内容によってグループ分けをする場合があります。

5. 実施日程 平成12年9月6日（水）～8日（金） 2泊3日

日程表

※都合によりプログラムを変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

	9月6日（水）	9月7日（木）	9月8日（金）
7:00		朝食(7:00～8:50)	朝食(7:00～8:50) チェックアウト
9:00		分 科 会 (途中休憩有)	分 科 会 コーヒースレイク ※アンケート記入・回収 各分科会場にて解散
12:00	受 付	昼 食	
13:00	開 会 式 全体講演	分 科 会 (途中休憩あり)	
15:00	分 科 会 (途中休憩あり)		
17:00	チェックイン・自由時間	自由時間	
18:00	懇 親 会	夕 食	
		フリーディスカッション	
20:00			
21:00			

6. 参加費 1名 26,500円（宿泊費は含みません）

7. 会場および宿泊

ホテルニュー京都

〒602-8148 京都府京都市上京区堀川丸太町角 TEL:075-801-2111 FAX:075-801-4519

(交通機関)

地下鉄：JR京都駅－地下鉄烏丸線(8分)→丸太町下車徒歩8分

バス：JR京都駅 市バスB乗り場 9 or 50 系統乗車 → 堀川丸太町（20分程度）

タクシー：JR京都駅 → 現地（15分程度）

宿泊費 1名 25,000円（2泊分）

宿泊費は開催第1日目に参加者が個人別に直接ホテルにお支払いください。

本研修会は合宿研修のため、参加者は全員ホテルニュー京都に宿泊いただきます。（部屋割りは当方で決めさせていただき、原則として大学毎、または参加グループ毎に2名以上の相部屋とさせていただきます。）

8. 討議結果のとりまとめ

本研修会終了後（本年度末頃になります）に報告書を取りまとめ、参加者に送付します。

9. 参加申し込み方法および締切期日

別紙参加申し込み用紙に所定事項をもれなくご記入の上、大学毎に一括とりまとめの上、7月22日（土）までに郵送にてお申し込みください。締切日以降でも定員に余裕があれば申し込みを受け付けますので、事務局へお問い合わせください。

※ 以下の3点を大学単位に一括とりまとめの上、私情協事務局宛に郵送にてお送りください。

- 1.参加申込者一覧：貴学の参加者全員についてとりまとめの上、記入してください。
- 2.参加者個人票：参加者毎に1枚、必ず本人が記入してください。
- 3.参加者レポート：参加者全員分の文書ファイルを納めたフロッピーディスク、および印字出力した文書を同封してください。
★「11.参加者レポート作成要領」を参照ください。

申し込み宛先：〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-14 No.1 山崎ビル 4F
社団法人私立大学情報教育協会 事務局
TEL:03-3261-2798
E-mail:info@shijokyo.or.jp

10. 参加費納入方法

参加費は、大学毎に一括して9月1日(金)までに銀行振込にて納入してください。なお、納入された参加費は原則として返金いたしません。

＜銀行振込先＞ あさひ銀行 市ヶ谷支店
口座番号 (普) 54409
名義人 (社) 私情協

11. 参加者レポート作成要領

開催要項「3. 各コースの概要と参加対象者 (6) 参加者レポート」にある記載内容を参照の上、参加者自身が以下の形式で作成してください。

レポートは事前に同グループの参加者に配布し、討議資料とします。

サイズA4

参加分科会名

第1分科会

大学名、所属名、氏名

千代田大学
学務課入試係
九段 一郎

1. 自大学の情報化政策について

2. 討議希望項目

討議概要を読んで指定内容を記載してください

レポートの提出方法については、「9. 参加申込方法及び締切期日」を参照ください。

第16回情報センター等部門研修会 参加申込者一覧票

大学名 _____

事務連絡者氏名 _____ 所属及び役職名 _____

所在地：〒 _____

TEL. _____ (直・内) _____ FAX. _____

	参加者氏名	所属及び役職名	参加希望 分科会
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			